丹波市総合計画　令和6年度　施策評価シート

まちづくりの目標	4	美しい自然と環境を大切にする源流のまち
施策目標	1	【環境保全】市民ぐるみで環境保全を進め、快適で住みよい丹波市にしよう
施策の展開	① ② ③	環境保全に関する情報提供の充実 自然環境との保全と創造 環境美化の推進

施策担当課	環境課
関係課	環境課

1　施策の現状・推移

5年後のまちの姿	・市民一人ひとりが環境保全に関心をもって暮らしている。 ・市民・事業者、地域、行政の協働により、豊かな自然環境を保全する活動が実践され、緑に囲まれた美しく快適なまちが保たれている。

2　成果指標・コストの推移

		単位	区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
成果指標	丹波市一斉クリーン作戦への参加者数	人	目標	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	
			実績	13,025	－	9,707	10,839	9,738	9,906	
	丹波市一斉クリーン作戦ごみ回収量	t	目標	6.5	6.5	6.5	6.5	6.5	6.5	
			実績	6.9	3.7	7.2	6.2	4.5	4.0	
	住んでいる地域は、ゴミのないきれいなまちであると思う市民の割合	%	目標	71.0	71.0	71.0	71.0	71.0	71.0	
			実績	67.0	62.5	62.0	63.3	69.0	66.0	
			目標							
			実績							
コスト	人件費	千円	実績	19,168	18,846	20,036	18,434	29,115	29,006	
	事業費	千円	実績	88,300	103,859	98,790	93,152	97,535	88,996	
	計	千円	実績	107,468	122,705	118,826	111,586	126,650	118,002	
	うち一般財源	千円	実績	82,659	91,133	91,876	82,659	98,317	91,296	

3　環境変化

国・県の方針、関連法令の動向	・大気汚染防止法、兵庫県の環境の保全と創造に関する条例等環境に係る各法令に基づき、市民が健康で安全かつ快適な生活を営むことのできる自然環境及び生活環境の保全を図る。
市民ニーズの動向	・市民の環境美化や環境保全に対する意識は高いものがあり、自治会や団体等によるクリーン作戦が実施されている。 ・公害等に係る苦情は依然として多く、生活の個別化、地域コミュニティの希薄による公害以前のご近所トラブルが増加している。

4　評価

目標の達成状況は順調か。達成していない原因は何か。	・各自治会等市民の環境美化活動による丹波市クリーン作戦の取組が定着している傾向にあり、令和6年度は令和5年度よりも取組数は増加している。 ・毎年実施している市民意識調査では、ゴミのないきれいな街であると感じている市民の割合は60％以上で推移している。
環境変化を踏まえた施策展開となっているか。	・平成29年度から10年間の環境の保全と創造に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための第2次環境基本計画については、令和4年度以降の数値目標や社会情勢の変化などを盛り込むため、令和3年度に改定した。 ・ゴミの不法投棄については、市民の関心も高く、環境パトロールにより毎日市内を巡視し、不法投棄ごみの回収を行っている。また、地域住民参加による自治会等が主体となったクリーン作戦の促進を図っている。 ・飼い主のいない猫の増加を抑制するための不妊・去勢手術費の助成制度により、地域での取組を促している。 ・令和3年度から令和7年度までの5年間を対象に丹波市斎場の運営について、指定管理者へ委託した。 ・氷上斎場を廃止して柏原斎場1か所で業務を行うため火葬炉設備等更新工事を令和5年度から実施している。
事業の構成や役割分担で見直しの余地がないか。	・市民、事業所、市が一体となり、それぞれの立場から参画と協働の取組を行うことを基本として施策を実施する。 ・一斉クリーン作戦については自治会の参画により実施している。 ・丹波市斎場については、柏原斎場と氷上斎場2施設での運営を令和9年度からは柏原斎場に統合する。

5　今後の改革方向

施策の今後の方向性、構成する事務事業の見直し案	・不法投棄や野焼き行為は、市民自らに係わることのため広報等啓発を随時行う。 ・丹波市クリーン作戦の参加人数について、目標達成に向け市民への啓発活動を進める。 ・兵庫県が策定した猫の適正管理普及推進のためのガイドラインや丹波市地域猫活動の手引きを活用し、不妊・去勢手術費用の一部助成等により地域猫活動を推進し、各地域が主体的に「猫の問題」に取り組んでいけるよう、サポートを進める。

●構成する事業一覧　（令和　6　年度実施事業）

事務事業名	予算小事業名	人件費【千円】	事業費【千円】	計・千円	うち一般財源	必要性	効果性	コスト	公平性
公害対策事業		13,339	14,076	27,415	27,177	A	B	B	該当なし
	公害対策事業								
	環境保全事業								
斎場管理運営事業		8,469	72,521	80,990	56,940	A	A	B	A
	斎場管理運営事業								
	斎場施設整備事業								
畜犬等関連事業		7,198	2,399	9,597	7,179	A	A	A	A
	畜犬等関連事業								
合計		29,006	88,996	118,002	91,296				

丹波市総合計画　令和　6　年度事務事業評価

事務事業名	公害対策事業				
事業担当課	生活環境部　環境課		事業期間	平成　16 ～　無期　年度	
	所属長	山内　邦彦	担当	大森　栄司	担当

位置づけ			
	総合計画	まちづくり目標	【４】美しい自然と環境を大切にする源流のまち
		施策目標	1【環境保全】市民ぐるみで環境保全を進め、快適で住みよい丹波市にしよう
	創生総合戦略	基本目標	
		施策	
	まちづくりビジョン	取組項目	
	根拠法令・個別計画等		騒音・振動規制法、県環境の保全と創造に関する条例、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、市環境基本条例、市旅館業等建築に関する条例、市家畜飼養施設に関する条例

計画（PLAN）		
事務事業	対象（誰を、何を）	市民、自治会、事業所
	目的 ベストな状態 （期待される効果）	・公害の未然防止、廃棄物の適正な処理を行い、環境美化と市民意識を向上する。 ・市内の豊かな自然環境を保全し、快適な暮らしを支え、良好な生活環境の安定を維持する。
	概要 （具体的手段・全体計画）	・不法投棄への対応、監視カメラ等による防止対策、環境パトロールの実施 ・公害苦情処理、調査 ・環境法令に基づく届出、許可申請 ・丹波市公害防止対策推進協議会会員への公害防止研修の実施及び情報提供 ・クリーン作戦等による環境美化活動 ・実施方法：直接実施、業務委託

実施（DO）

コスト（単位：千円） （評価年度は実績、計画年度は予算）	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	備　考
歳出　総事業費　A＋B	23,114	24,676	28,855	25,294	26,350	27,415	
直接事業費A	10,104	15,049	15,924	15,182	14,556	14,076	
総人件費計（E＋H）B	13,040	9,627	12,931	10,112	11,794	13,339	
職員従事者数（人・年）C	1.50	0.99	1.09	0.68	0.84	0.85	
【平均人件費】D	7,400	7,460	7,620	7,430	7,540	7,810	
人件費E＝C×D	11,100	7,385	8,306	5,052	6,334	6,639	
会計年度任用職員従事者数（人・年）F	0.97	0.95	1.96	2.00	2.00	2.00	
【平均人件費】G	2,000	2,360	2,360	2,530	2,730	3,350	
人件費H＝F×G	1,940	2,242	4,626	5,060	5,460	6,700	
歳入　特定財源	550	417	354	284	236	238	
国・県支出金	550	407	348	278	230	232	
借入金（地方債）	0	0	0	0	0	0	
受益者負担金	0	0	0	0	0	0	
その他特財	0	10	6	6	6	6	
一般財源	22,564	24,259	28,501	25,010	26,114	27,177	

	指標名	単位		令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	備　考
成果	丹波市一斉クリーン作戦への参加者数	人	目標	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	
			実績	13,025	-	9,707	10,839	9,738	9,906	
成果	丹波市クリーン作戦ごみ回収量	t	目標	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	
			実績	6.87	3.71	7.19	6.22	4.48	3.98	
活動	典型７公害発生件数	件	目標	40	40	40	40	40	40	
			実績	45	59	52	23	22	31	
活動	不法投棄件数	件	目標	40	40	40	40	40	40	
			実績	41	26	33	17	6	5	
活動	住んでいる地域はゴミのないきれいな街であると思う市民の割合	%	目標	71.0	71.0	71.0	71.0	71.0	71.0	
			実績	67.0	62.5	62.0	63.3	69.0	66.0	
コスト			目標							
			実績							

指標の推移等の背景・分析	
	・クリーン作戦の参加者は令和5年度と比較して増加した。 ・ごみのないきれいな街であると思う市民の割合は60%以上で推移している。また、クリーン作戦のごみ回収量が減少しており環境美化の活動が定着している。

事務事業名	公害対策事業		
事業担当課	生活環境部　環境課	事業期間	平成　16 ～　無期　年度

評価（CHECK）

事務事業全体の実施（DO）に対する、事務事業の展開の評価・課題について

評価視点	評価	理由・コメント	評価視点	評価	理由・コメント
(必要性) 市民にとって必要な事業か。	A	公害防止対策については、騒音規制法、振動規制法、悪臭防止法等法令で規制基準が設けられており、行政が主体となり市民の生活環境を保全する必要がある。	(コスト) 改善・改革等により更に低コストで実施できないか。(サービス・成果は維持)	B	環境パトロール業務は、動物死体等回収業務と併せて業務委託しコストを抑えているが、更に一斉クリーン作戦のような市民参画型ボランティアへの参加意識を高めることで不法投棄の減少と費用の削減を図る。
(効果性) 成果につながっているか。進捗は予定どおりか。※成果指標に対する評価	B	不法投棄件数については、警察、丹波県民局、地域と連携し、啓発・指導をしており一定の効果が出ている。	(公平性・受益者負担) 公平性に問題はないか。受益者負担検討の余地はないか。	該当なし	

改革（ACTION）

総合的な評価と課題（成果の達成状況及び評価結果から明らかになった課題事項など）

【評価】
・平成27年度から公害対応専門員を配置し不法投棄の看板設置や苦情対応等対策を行い、一定の指導が出来ている。
・各自治会等市民の環境美化活動による丹波市クリーン作戦の取組が定着している傾向にあり、クリーン作戦のごみ回収量の減少につながっている。
【課題】
・依然として不法投棄や公害関係の苦情が一定数あり、環境パトロールの実施など対策を継続していく必要がある。

今後の方向性・改善策等

・広報紙や無線放送による不法投棄や野焼き行為禁止の啓発を引き続き行う。
・重点的に不法投棄対策が必要な個所については、自治会と連携して不法投棄啓発看板や監視カメラを設置するなどの対策を継続する。
・丹波市クリーン作戦の参加人数について、目標達成に向け市民への啓発活動を進める。

成果・コストの方向性

成果の方向性 ＼ コスト投入の方向性	皆減	縮小	現状維持	拡大
拡充				
現状維持			✓	
縮小				
休廃止				

●構成する予算小事業一覧　（単位：千円）

No.	予算小事業	コスト（評価年度は実績、計画年度は予算）					備考
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
1	公害対策事業	13,110	13,102	12,781	12,193	11,658	
2	環境保全事業	1,939	2,822	2,401	2,363	2,418	
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
合計		15,049	15,924	15,182	14,556	14,076	

●外部評価　【　　】年度実施

指摘事項など		対応状況	

丹波市総合計画　令和　6　年度事務事業評価

事務事業名	斎場管理運営事業				
事業担当課	生活環境部　環境課		事業期間	平成　16 ～　無期　年度	
	所属長	山内　邦彦	担当	大森　栄司	担当

位置づけ			
総合計画	まちづくり目標	【４】美しい自然と環境を大切にする源流のまち	
	施策目標	1【環境保全】市民ぐるみで環境保全を進め、快適で住みよい丹波市にしよう	
創生総合戦略	基本目標		
	施策		
まちづくりビジョン	取組項目		
根拠法令・個別計画等	墓地、埋葬等に関する法律、　丹波市斎場条例		

計画（PLAN）

事務事業	対象（誰を、何を）	
	目的 ベストな状態 （期待される効果）	斎場施設の適正な維持管理及び運営により、市民が安心して施設を利用している。
	概要 （具体的手段・全体計画）	・火葬の受付、実施　・各種保守点検、修繕等施設管理　・斎場使用料の収入管理 ・斎場使用料　火葬人体大人：市内20,000円、市外60,000円　子供：市内10,000円、市外30,000円 火葬胎児他：市内5,000円、市外10,000円　動物：市内5,230円、市外10,470円 霊安室：市内10,470円　市外20,950円 葬祭棟：葬祭場市内52,380円、市外157,140円、和室市内3,140円、市外6,280円 ・実施方法：指定管理、業務委託 ・斎場施設の統廃合 ・柏原斎場火葬炉設備等更新工事

実施（DO）

コスト（単位：千円） （評価年度は実績、計画年度は予算）		令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	備　考
歳出	総事業費　Ａ＋Ｂ	79,235	93,731	85,425	80,919	89,977	80,990	
	直接事業費Ａ	76,719	87,092	81,234	76,461	80,568	72,521	
	総人件費計（Ｅ＋Ｈ）Ｂ	2,516	6,639	4,191	4,458	9,409	8,469	
	職員従事者数（人・年）Ｃ	0.34	0.89	0.55	0.60	1.19	1.02	
	【平均人件費】Ｄ	7,400	7,460	7,620	7,430	7,540	7,810	
	人件費Ｅ＝Ｃ×Ｄ	2,516	6,639	4,191	4,458	8,973	7,966	
	会計年度任用職員従事者数（人・年）Ｆ	0.00	0.00	0.00	0.00	0.16	0.15	
	【平均人件費】Ｇ	2,000	2,360	2,360	2,530	2,730	3,350	
	人件費Ｈ＝Ｆ×Ｇ	0	0	0	0	437	503	
歳入	特定財源	22,144	28,877	24,272	26,301	25,567	24,050	
	国・県支出金	0	0	0	0	0	0	
	借入金（地方債）	0	6,700	0	0	0	0	
	受益者負担金	22,085	21,953	24,160	26,046	25,361	23,952	
	その他特財	59	224	112	255	206	98	
	一般財源	57,091	64,854	61,153	54,618	64,410	56,940	

	指標名	単位	目標／実績	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	備　考
活動	柏原斎場人体火葬件数	件	目標	500	500	500	500	500	500	
			実績	528	514	554	659	600	571	
活動	氷上斎場人体火葬件数	件	目標	330	330	330	330	330	330	
			実績	336	348	377	409	407	417	
活動	小動物火葬件数	件	目標	450	450	450	450	450	450	
			実績	456	445	491	459	484	486	
成果	トラブル件数	件	目標	0	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	0	
コスト	火葬１件あたり（人体・動物）	千円	目標	-	-	-	-	-	-	総事業費 柏原・氷上 人体・動物
			実績	60.0	71.7	60.1	53.0	60.3	54.9	
コスト			目標							
			実績							

指標の推移等の背景・分析	・丹波市内の人体火葬件数は、令和２年度は約860件であったが、令和4年度以後は約1,000件に増加している。 ・小動物の火葬件数は400件台で推移している。

事務事業名	斎場管理運営事業		
事業担当課	生活環境部　環境課	事業期間	平成　16 ～　無期　年度

評価（CHECK）

事務事業全体の実施（DO）に対する、事務事業の展開の評価・課題について

評価視点	評価	理由・コメント	評価視点	評価	理由・コメント
(必要性) 市民にとって必要な事業か。	A	火葬場は市民生活にとって必要不可欠な施設である。	(コスト) 改善・改革等により更に低コストで実施できないか。(サービス・成果は維持)	B	・火葬業務の指定管理により、サービスの向上を図り低コストで運営している。 ・斎場の統廃合を行い、委託料などのコストの削減を図る。
(効果性) 成果につながっているか。進捗は予定どおりか。※成果指標に対する評価	A	トラブルなく業務が遂行されている。	(公平性・受益者負担) 公平性に問題はないか。受益者負担検討の余地はないか。	A	使用料について、県内他市と比べ平均的である。

改革（ACTION）

総合的な評価と課題（成果の達成状況及び評価結果から明らかになった課題事項など）

【評価】
令和３年度より指定管理へ移行し、民間活力を活用した施設管理を進めており適切に管理されている。
【課題】
市が施設の運営状況を把握できるよう指定管理者との連携を深めていく必要がある。

今後の方向性・改善策等

・指定管理者制度運用ガイドラインに基づき、計画的な管理に努める。
・指定管理者に対するモニタリングを実施し、適切な管理運営を推進していく。
・斎場施設の統廃合に伴い柏原斎場を継続して使用するため、柏原斎場の火葬炉設備等更新工事を行う。令和６年度は、建築物の改修と火葬炉設備２基の工事を実施（令和７年度繰越）、令和７年度に火葬炉設備３基の工事を実施する。

成果・コストの方向性

成果の方向性 ＼ コスト投入の方向性	皆減	縮小	現状維持	拡大
拡充			✓	
現状維持				
縮小				
休廃止				

●構成する予算小事業一覧　（単位：千円）

No.	予算小事業	コスト（評価年度は実績、計画年度は予算）					備考
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
1	斎場管理運営事業	83,247	81,234	76,461	80,568	71,883	
2	斎場管理運営事業（繰越）	3,845				600	
3	斎場施設整備事業					38	
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
合計		87,092	81,234	76,461	80,568	72,521	

●外部評価　【　　】年度実施

指摘事項など		対応状況	

丹波市総合計画　令和　6　年度事務事業評価

事務事業名	畜犬等関連事業				
事業担当課	生活環境部　環境課		事業期間	平成　16 ～　無期　年度	
	所属長	山内　邦彦	担当	大森　栄司	担当　芦田　翔那汰

位置づけ		
総合計画	まちづくり目標	【４】美しい自然と環境を大切にする源流のまち
	施策目標	1【環境保全】市民ぐるみで環境保全を進め、快適で住みよい丹波市にしよう
創生総合戦略	基本目標	
	施策	
まちづくりビジョン	取組項目	
根拠法令・個別計画等	狂犬病予防法、動物の愛護及び管理に関する法律、県動物の保護及び管理に関する条例	

計画（PLAN） 事務事業	
対象（誰を、何を）	ペットを飼養する住民及び丹波市内の全ての愛玩動物
目的 ベストな状態 （期待される効果）	・飼養している犬の登録を行い、迷い犬の早期発見、適正な飼育を行う。 ・狂犬病予防注射の実施により狂犬病の発生の予防と蔓延を防止する。 ・犬猫等、ペットを適正に飼養し、ペットと人間が共生する社会づくりを目指す。
概要 （具体的手段・全体計画）	・犬猫等のペットの過剰繁殖の抑制等、適正な飼養指導及び啓発・周知 ・畜犬の登録 ・狂犬病予防注射の実施 ・畜犬システムによる犬の登録、狂犬病予防注射数等を把握 ・実施方法：直接実施、業務委託

実施（DO）

コスト（単位：千円） （評価年度は実績、計画年度は予算）	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	備　考
歳出　総事業費　A＋B	5,089	4,298	4,546	5,373	10,323	9,597	
直接事業費A	1,477	1,718	1,632	1,509	2,411	2,399	
総人件費計（E＋H）B	3,612	2,580	2,914	3,864	7,912	7,198	
職員従事者数（人・年）C	0.48	0.33	0.37	0.52	0.89	0.69	
【平均人件費】D	7,400	7,460	7,620	7,430	7,540	7,810	
人件費E＝C×D	3,552	2,462	2,819	3,864	6,711	5,389	
会計年度任用職員従事者数（人・年）F	0.03	0.05	0.04	0.00	0.44	0.54	
【平均人件費】G	2,000	2,360	2,360	2,530	2,730	3,350	
人件費H＝F×G	60	118	94	0	1,201	1,809	
歳入　特定財源	2,112	2,278	2,324	2,342	2,530	2,418	
国・県支出金	0	0	0	0	0	0	
借入金（地方債）	0	0	0	0	0	0	
受益者負担金	2,112	2,278	2,324	2,342	2,530	2,418	
その他特財	0	0	0	0	0	0	
一般財源	2,977	2,020	2,222	3,031	7,793	7,179	

	指標名	単位		令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	備　考
成果	狂犬病予防注射接種率	%	目標	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	
			実績	83.1	84.9	76.9	86.5	94.6	87.4	
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
コスト			目標							
			実績							
コスト			目標							
			実績							

指標の推移等の背景・分析	狂犬病予防注射の接種率は、令和６年度は令和５年度と比較し減少したが、85%以上の高い接種率となっている（令和５年度兵庫県接種率68.7%）。

事務事業名	畜犬等関連事業		
事業担当課	生活環境部　環境課	事業期間	平成　16 ～　無期　年度

評価（CHECK）

事務事業全体の実施（DO）に対する、事務事業の展開の評価・課題について

評価視点	評価	理由・コメント	評価視点	評価	理由・コメント
(必要性) 市民にとって必要な事業か。	A	狂犬病予防法に犬の飼い主に登録と狂犬病予防注射接種が義務付けられ、また、兵庫県動物の愛護及び管理に関する条例に県の動物愛護管理施策に協力することが規定されており、市民の生活環境の保全とペット動物の適正飼養の取組として必要性がある。	(コスト) 改善・改革等により更に低コストで実施できないか。(サービス・成果は維持)	A	市内動物病院に畜犬登録及び狂犬病予防注射済票の交付事務を委託しており市職員の人件費を抑えている。
(効果性) 成果につながっているか。進捗は予定どおりか。※成果指標に対する評価	A	狂犬病予防注射接種率は、高水準で推移しており、動物病院での注射済票の交付委託の効果が出ている。	(公平性・受益者負担) 公平性に問題はないか。受益者負担検討の余地はないか。	A	犬の飼い主に対して、犬の登録手数料、狂犬病予防注射済票交付手数料を徴収し、それにより施策を実施しているため、受益者負担ができている。他自治体も同額の手数料である。

改革（ACTION）

総合的な評価と課題（成果の達成状況及び評価結果から明らかになった課題事項など）

【評価】
・犬の登録と狂犬病予防注射について動物病院に犬の鑑札や注射済票の交付を委託することで、狂犬病予防注射接種率は高水準となっている。
・令和５年度の集合注射の参加者が少なく、獣医師会と協議の結果、令和６年度から集合注射を取りやめたことによりコストの削減となった。
・転居先不明や生後25年程度の犬が登録されたままになっていたため、対象の把握及び登録抹消の基準を定め、基準に該当した犬について一時抹消を行い不要な通知等の削減に繋がった。
【課題】
・猫の糞尿への苦情が多く、室内飼育、不妊手術、無責任な餌やりの禁止など適切な飼い方に関する啓発を継続していく必要がある。

今後の方向性・改善策等

・兵庫県が策定した猫の適正管理普及推進のためのガイドラインや丹波市地域猫活動の手引きを活用し、地域猫活動を推進していくとともに、地域猫活動団体が実施する不妊・去勢手術費用の一部助成を行い、各地域が主体的に「猫の問題」に取り組んでいけるよう、サポートを進める。
・犬の登録の特例（ワンストップサービス）について、他の自治体の動向を見ながら対応を検討していく。

成果・コストの方向性

成果の方向性 ＼ コスト投入の方向性	皆減	縮小	現状維持	拡大
拡充				
現状維持			✓	
縮小				
休廃止				

●構成する予算小事業一覧　（単位：千円）

No.	予算小事業	コスト（評価年度は実績、計画年度は予算）					備考
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
1	畜犬等関連事業	1,718	1,632	1,509	2,411	2,399	
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
合計		1,718	1,632	1,509	2,411	2,399	

●外部評価　【　　】年度実施

指摘事項など		対応状況	